
三重の畜産女性の会サン・カラット
平成 20 年度総会資料



と き 平成 20 年 6 月 23 日 13 時

ところ ウエストパーク松阪 研修室

三重の畜産女性の会 サン・カラット

平成 19 年度事業報告

昭和から平成へ時代が変わって 20 年が経過しようとしています。

畜産業界も、昭和時代にはオイルショックの影響を受けたり、牛肉の自由化に脅かされたり、近年では B S E の発生や食肉の偽装事件、さらには鳥インフルエンザが発生するなど、さまざまな事件や問題に直面してきました。

そのたびに畜産経営では、経費の負担が重くなったり、風評被害にも泣かされたりしてきました。

そして今、畜産経営者のすべてが憂慮しているのは、異常なまでの飼料価格の高騰です。このような今までにない厳しさを如実に示す数字として、昨年度、全国では 1,000 戸を超える酪農農家の廃業があったようです。

決して安穩としてはいられない畜産情勢ですが、私たち三重の畜産女性の会サン・カラットは、仲間意識を高め、元気な畜産であり続けるために、発足以降「ホップ、ステップ」の流れの中で活動を展開しました。

1 総会

とき：平成 19 年 6 月 11 日（月）

ところ：津市（三重県久居庁舎第 25 会議室）



この総会には、会員等畜産生産者 19 名を始めとする 37 名に参加していただきました。

世話人から提出した平成 18 年度の事業報告並びに平成 19 年度の事業計画について、報告し、承諾を得ました。

代表世話人からは「畜種全般を通じて厳しい情勢が続いています。養鶏の仲間では鳥インフルエンザに対するやり場のない不安も持ちながら心労が重なっているようであり、飼料価格の高騰はすべての畜産農家の大きな重荷になっていますが、畜種を超えた仲間同士の交流をさらに深め大きな実を实らせるように頑張っていこう。」という挨拶がありました。

来賓の三重県農水商工部農畜産室松下規明副室長から祝辞をいただきました。



2 研修会の開催

1) 料理講習会の開催

とき：平成 19 年 4 月 18 日（水）

ところ：伊賀市蓮池（講師自宅）

料理研究家の吉原ひろこ先生の指導により、テーマを「ダイエット」として、料理



教室を開催しました。

先生は、18 年度にもご指導いただいた先生で、その時の参加者から「もう一度、ぜひ先生のお話を聞いてみたい。」という希望の声があったことにより、参加者の自費負担により開催しました。

テーマの「ダイエット」については、とにかく痩せればよいというスタンスではなく、栄養バランスを考えた食事をしながら無理なく理想の体重を目指すことを基本においたお話でした。

なお、講師の派遣には、(財)三重県農林水産支援センター「食の魅力づくり（6次産業化・アグリビジネス）事業」の支援を受けました。

参加者数：会員等 13 名。



2)講演会と茶話会の開催

とき：平成 19 年 6 月 11 日（月）

ところ：津市（三重県久居庁舎第 25 会議室）

総会に引き続き、(財)三重県農林水産支援センターの専門嘱託員小林かよ先生から「チャレンジとネットワークで、よりががやきを」～いま、農村・農業に生きる女性たち～と題して講演していただきました。

講演では、全国で頑張る農業者の姿を紹介しながら、「農業で女性が担う役割が大きくなっている現状であるにも関わらず、意見を出せる「場」とか「機会」には恵まれていないことも多い。全国各地で活躍している農業者の取り組みも、始めは小さな活動であったかもしれないが、前向きな姿勢で取り組んでいった結果、大きな実りとなった。サン・カラットの取り組みや、一経営の取り組みも、小さくとも活動を活かしていけば、向こうから情報も入ってくるし、自信を持って情報発信していくこともできるようになる。また、よきパートナーがお互いを補って活かしあっていくことも

大切である。」といったお話を聞かせていただきました。

茶話会へは、会員 17 名を始めとして計 29 名の参加がありました。



3)会員交流会・食事会の開催

とき：平成 19 年 10 月 24 日（水）

ところ：松阪市伊勢寺町（松阪農業公園ベルファーム）

サン・カラット会員を中心に他の関係組織等の参加もいただき、食事会も兼ねて交流会を開催しました。

ファーム内の農場レストラン「時のぶどう」で提供される素材は、体にやさしい、地産地消、スローライフ・・・といったことを考えさせてくれるものでした。

【酪農家松本まさ代さん(松阪市)のお話】

演題「私の歩んだ酪農経営～改めて取り組んだ資源循環～」

規模拡大に取り組んできた時代、忙しさに追われていた思い出や家畜排せつ物法で決断と選択を迫られた酪農の現場からの実体験をお話いただきました。話を聞いた参加者も同じような経験をしてきたこともあり、共感した部分がたくさんあったようです。

「畜種が違う酪農について改めて勉強できた。」「環境との調和という内容がよかった。」「人には言えないような苦労があったと思うが、これからも頑張りたい、頑張っていきたい。」といった感想が寄せられました。

【ビデオ「BSE 発生農場の1年」】

T県でBSEが発生し混乱する現場と仲間の声援によりこれを乗り越えていったようすをビデオで見ました。BSEの発生も一時の大騒ぎはなくなりましたが、畜産農家にとっては忘れられない大事件でした。

このビデオの農家が立ち直って過程では、やはり畜産仲間の温かい支えがあったようでした。

【コント「カスタマーセンターへようこそ」】

T県家畜共済組合から『畜産経営では、日頃の家畜の健康管理が大切です』というテーマをおもしろおかしくコント仕立てにした台本を提供いただき、会員で家保職員でもある平塚さんと代表世話人の小林さんがこれを演じました。

新米の酪農ヘルパーさんが、病気の子牛を目の前にして大慌てに・・・、獣医さんに電話をしたつもりが、電話は、なんと「家電のカスタマーセンター」へ。掃除機を目の前にした相談員と下痢の子牛を目の前にしたヘルパーさんのトンチンカンなやり取りに、「客席」からは、爆笑の音が上がっていました。

練習なしのぶっつけ本番で臨んだ「タレント」二人でしたが、息ピッタリでした。

【意見交換会】

日頃の課題や疑問について、意見を出し合いました。

・飼料価格高騰の問題は、いずれも家畜でも大変大きな緊急を要する課題であり、



この先の経営について不安の声が上がりました。

- ・畜産への理解醸成の一環として、食育などを始めとしてふれあい活動が盛んになってきましたが、現場では、畜舎へ見学に来られても挨拶もないようなことがあったり、防疫面では不安も感じてしまうという声も出ました。
- ・サン・カラット活動と全国畜産縦断いきいきネットワークでは、活動の舞台がやや異なりますが、求めるものには共通のものもあります。いきいきネットで知り合った人から別の場面で声をかけられて嬉しかったとか、それをきっかけに三重県への訪問について相談があったという新しい展開についての報告もありました。

4) 三重県養鶏協会主催の料理研修会への参加

とき：平成20年1月22日（火）

ところ：津市（三重県総合文化センター内「生活工房」）



三重県養鶏協会が開催した「タマゴを使った料理講習会」に一般の参加者とともに、サン・カラット会員として参加しました。

この料理講習会は、鶏卵の利用推進を目的に開催されたものです。

講師は、鈴鹿市で養鶏を営むサン・カラット会員でもある川北淳子さんと、その友人でお菓子作りが得意な小川みちるさんのお二人でした。

レシピは、「えのき入りキムチ卵」「肉入り卵焼き」「もやしと卵の簡単中華あんかけ」、お菓子は「マドレーヌ」と「プリン」で、参加した方からは、「簡単なレシピで、すぐにできるのがいい。」「マドレーヌも上手く焼けて、とても美味しかった。」「もっと、卵もたべなきゃ。」といった声が出ていました。



5) 第20回農山漁村のつどいへの参加

とき：平成20年2月26日（火）

ところ：津市（三重県総合文化センター内「多目的ホール」）

この催しは、農山漁村のつどい実行委員会が主催するもので、農林漁業において重要な役割を果たしている女性が、その働きに見合った適正な評価を受け、経営や地域社会において、男女ともに輝く農山漁村のあり方を考えていこうという趣旨で開催されているものです。サン・カラットも実行委員会のメンバーの一員として初めて参加いたしました。



この集いでは、岩手県遠野市で展開されてきた地域おこしや、県内の地域振興事例や製茶業に取り組む経営事例について発表や食育をテーマにした創作劇が演じられ

ました。

サン・カラットからは、先の交流会で好評を得たコント「カスタマーセンターへようこそ」を再び演じました。

3 会員間の情報交換、活動内容の広報等

1) 会員誌等の発行

① サン・カラット通信第2号 (2007年9月)

- ・サン・カラット総会を開催しました
- ・総会后「講演会」「茶話会」を開催
- ・テーマは「ダイエット」
- ・全国畜産縦断いきいきネットワークから
- ・もう読みました？松阪牛物語
- ・モーこの暑さはどうにもならん！！(寄稿)

② サン・カラット通信第3号 (2007年11月)

- ・酪農を学び、コントで笑った一日！会員交流会&食事会を開催
- ・NEWS 東京発「実りのフェスティバルに参加」
- ・NEWS 酪農発「酪農の厳しい現状を知ってください」

③ サン・カラット通信第4号 (2008年3月)

- ・タマゴを使った料理講習会に参加
- ・第20回農山漁村のつどいに参加
- ・(社)中央畜産会が畜産女性組織のあり方を考える支援生産者組織交流会を開催



2) 事務局通信の発行

① 事務局通信(2007年9月26日)

- ・サン・カラット会員誌の作成について
- ・年会費の納入について
- ・会員交流会&食事会の開催(10/24)に、お友達もお誘い下さい
- ・来年の行事予定です
- ・畜産協会のメール案内について

② 事務局通信(2007年11月15日)

- ・サン・カラット会員誌について
- ・農山漁村のつどい開催のお知らせ
- ・三重県養鶏協会主催の料理教室への参加について

③ 事務局通信(2008年1月22日)

- ・2月26日開催の農山漁村のつどいのお知らせ
- ・2月21日開催の畜産経営技術優良事例発表会のお知らせ

3) インターネットホームページの開設



三重県畜産協会のホームページ「三重の畜産広場」内にサン・カラットのサイトを開設し、会の紹介、会員募集情報、トピックスとして会の活動状況を広報しています。

サン・カラット URL <http://mie.lin.go.jp/san/mn.htm>

4)メールによる情報提供

メールアドレスを登録していただいているサン・カラット会員に向けて、事務局でキャッチした畜産に関するテレビ番組や、研修会、冊子の提供等について案内しました。



5)新聞等からの情報発信

東海けいざい新聞：2007. 11. 28 付け 掲載内容「新風 女性パワー」

伊勢新聞：2007. 6. 12 付け 掲載内容「総会にあわせて講演会を開催」

4 その他会の運営に必要な活動

1)世話人会の開催

とき：平成 19 年 5 月 7 日（月）

ところ：津市（三重県桜橋会館）

平成 19 年度の活動を検討するために、総会開催の準備も含め開催しました。

会員からのアンケート結果にも配慮し事業計画について検討しました。

主な活動としては、総会終了後の講演会、会員交流会の開催、料理講習等の開催を計画し、その他の活動として、全国畜産縦断いきいきネットワーク大会への参加等についても「研修」の一環として、会員に勧めていこうということにしました。

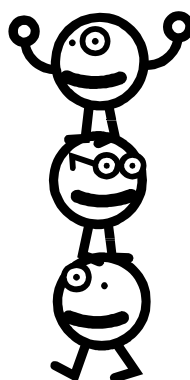
2)世話人会の開催

とき：平成 19 年 9 月 3 日（月）

ところ：津市（三重県桜橋会館）

この会議は、畜産協会が実施する畜産関係団体調整機能強化事業の一環として開催しました。

会議では「会員交流会の開催」「会員紹介誌の作成」「料理講習会への参加」等について協議しました。



5 平成 19 年度収支報告

三重の畜産女性の会サン・カラット 平成 19 年度収支計算書

(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

1) 収入の部

科 目	予算額①	決算額②	差異①-②	備 考
1 会費	175,000	180,000	△5,000	5,000 円×36 会員
2 寄付金	0	10,000	△10,000	10,000 円×1 件
3 特別事業費	135,000	8,000	127,000	会員外参加費負担金 1,000 円×8 人
4 雑収入	100	1,468	△1,368	預金利息他
当期収入合計(A)	310,100	199,468	110,632	
前期繰越収支差額	208,941	208,941	0	
収入合計(B)	519,041	408,409	110,632	

2) 支出の部

科 目	予算額①	決算額②	差異①-②	備 考
情報提供費	0	0	0	
情報収集費	0	0	0	
特別事業費	139,450	42,617	96,833	<ul style="list-style-type: none"> 6/11 総会会議費 14,392 円 10/24 交流会会議費 24,025 円 2/26 つどい会議費 4,200 円
会議費	1,800	0	1,800	
会場費	30,000	0	30,000	
旅費交通費	60,000	6,030	53,970	事務局 4 回分
謝金	0	0	0	
渉外費	0	0	0	
通信運搬費	11,200	23,170	△11,970	切手代 23,170 円
消耗品費	12,000	15,305	△3,305	会員紹介誌ファイル 6,300 円他
賃金	66,000	53,200	12,800	事務局 8 日分
事務諸経費	12,000	0	12,000	
雑費	5,000	525	4,475	残高証明
当期支出合計(C)	337,450	140,847	196,603	
当期収支差額 (A)-(C)	△27,350	58,621	△85,971	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	181,591	267,562	△85,971	

* 参照(畜産協会事業「畜産関係団体調整機能強化事業」からの支援)

交流会開催時の会場費 5,040 円、会議費 29,000 円等、事業費合計で 146,477 円の助成があった。

三重の畜産女性の会サン・カラット規約第 14 条により上記のとおりご報告します。

平成 20 年 5 月 13 日

会計担当世話人 長崎 房子

平成 20 年度事業計画（案）

平成 19 年度の事業報告で、三重の畜産女性の会サン・カラットの活動状態を「ホップ、ステップ」と表現しました。

発足以降 3 年目を迎えるに当たり、次のステージは、「ジャンプ」であると認識を新たにしています。

幸いにも、昨年度は、女性を中心とした農業者の集まりにも顔を出させていただく機会を与えていただいたことにより、会の中にとどまるだけのものではなく、新しい世界も体験させていただいたように感じています。

平成 20 年度の活動については、会員相互の連携をさらに密にしながら、農業に対して同じような思いを持つ他の組織の皆さんとの交流も展開していきたいと思っています。

そして、これらの活動を通じて三重の畜産女性が元気になり、三重の畜産が発展していくことを願っています。



1 畜産経営向上のための研修・視察、会員相互の交流等の活動



畜種を超えた会員が集うサン・カラットでは、少しずつではありますが他の畜種に携わる方々との連絡や交流も生まれてきているようです。

本年度の活動でも会員相互の交流活動等は、以前にも増して活発に進めていきたいと思えます。

さらに、会の内部にとどまるだけでなく、他の農林水産漁業にも目を転じ、視野を広げられるような研修会の開催を計画します。（具体的な内容については未定ですが、漁業関係の皆さんとの交流を図る予定です。）

また、他の組織が開催する研修会などで、自らを高めていけるようなこの会の趣旨に合った内容のものがあれば、随時お知らせしますので、積極的に参加し自らを研さんしていきましょう。

なお、サン・カラットと同じ活動目的をもった「全国畜産縦断いきいきネットワーク」では、来る 7 月 1 日に開催される全国大会や地域で開催される予定の交流活動に参加していただくことも、有意義なことです。

この他にも本年度から、JA 三重中央会が軸となって開催する「女性部交流会」や昨年度に初参加した「農山漁村のつどい」にも会を挙げて参加していきましょう。

2 情報発信・情報交換による交流

会の活動内容は、引き続き会員誌やホームページなどから積極的に情報を発信していきます。

会の活動状況を一人でも多くの皆さんに知っていただくことも、広い意味では畜産への理解を深めていただけることにもつながっていきます。

活動内容を広報することにより、関係者以外の皆さまにも会の存在や活動成果を見守っていただきたいと考えています。

1) 会員紹介誌の充実

平成 19 年度において、会員一人一人を自己紹介する紹介誌を作成しましたが、すべての会員を紹介するには至りませんでした。

本年度、この欠落部分の作成を優先して行い、さらに既掲載内容についての加筆修正などの改訂も行います。



2) 会員誌の発行

会員誌「サン・カラット通信」を年 4 回発行する予定です。

会の活動や会員の皆さんからの意見や想いを中心に、「読んで楽しい」を基本に作成します。

生の「声」を載せていく予定ですので、会員の皆さんのご協力をお願いします。

3) ホームページによる情報発信

会の活動を会員以外にも知ってもらうことを目的に、インターネットホームページ「三重の畜産広場」の一角に「サン・カラット」のコーナーを設け、ここから情報発信を行います。 URL <http://mie.lin.go.jp/san/mn.htm>

4) サン・カラット事務局通信の発行

会員誌と同時発行を基本として、事務局からの連絡等については、「サン・カラット事務局通信」でお知らせいたします。

この他にもファックスにより情報の連絡は随時行います。

また、事務局にメールアドレスを登録された会員に対してのみ、随時情報を発信していますので、未登録の方は登録をお勧めします。



3 畜産物の消費拡大へ向けての活動

日本の食卓においしくて安全で安心のできる「食」を届けることは、畜産生産者が負う使命です。「食」を見つめながら、自分たちが生産する畜産物の消費拡大も見据えていきたいと思っています。



このために料理研修などを通じて自らがもっと畜産物のことを知り、得られた知識をもとにして、積極的かつ発展的に消費者の皆さんに畜産物への

理解を深めていただきたいと思います。

このためには、会員がすでに取り組んでいる食育活動を支援したり、新たな活動を展開していきます。

4 その他会の運営に必要な活動

世話人会では、会員の意見に耳を傾け検討しながら、会員やサン・カラットを取り巻く皆さんからの支持をいただけるように、この活動が有意義なものとなるよう努力をしていきます。



5 平成 20 年度収支予算

三重の畜産女性の会サン・カラット 平成 20 年度収支予算 (案)

(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

1) 収入の部

科 目	予算額①	前年度 予算額②	差異①-②	備 考
会費	200,000	175,000	25,000	会費 5,000 円×40 名
寄付金	0	0	0	
特別事業費	20,000	135,000	△115,000	参加費 1,000 円×20 人×1 回
雑収入	100	100	0	預金利息
当期収入合計(A)	220,100	310,100	△90,000	
前期繰越収支差額	267,562	208,941	58,621	
収入合計(B)	487,662	519,041	△31,379	

*サン・カラット会員の年会費は 5,000 円とする。納入は 7 月末日までをお願いします。

振込先 銀行名 三重県信用農業協同組合連合会本店
 口座名義 三重の畜産女性の会
 口座種別 普通預金 口座番号 0003584

2) 支出の部

科 目	予算額①	前年度 予算額②	差異①-②	備 考
特別事業費	196,500	139,450	57,050	表下*1 参照
会議費	1,800	1,800	0	100 円×6 人×3 回
会場費	25,000	30,000	△5,000	10,000 円×1 回、5,000 円×3 回
旅費交通費	36,000	60,000	△24,000	3,000 円×4 回、2,000 円×4 人×3 回
通信運搬費	22,400	11,200	11,200	80 円×40 人×4 回、800 円×12 ヶ月
消耗品費	12,000	12,000	0	1,000 円×12 ヶ月
賃金	67,000	66,000	1,000	6,700 円×10 日
事務諸経費	12,000	12,000	0	1,000 円×12 ヶ月
雑費	5,000	5,000	0	その他雑費 5,000 円
当期支出合計(C)	377,700	337,450	40,250	
当期収支差額 (A)-(C)	△157,600	△27,350	△130,250	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	109,962	181,591	△71,629	

*1 参照 (特別事業費)

会議費	76,500	2,000 円×20 人×1 回 1,500 円×15 人×1 回 800 円×10 人×1 回 100 円×60 人×1 回	謝金 貸借料 印刷製本費 通信運搬費	5,000 60,000 6,000 16,000	5,000 円×1 回(講師) バス借上 1 回 2,000 円×3 回(コピー) 80 円×40 人×5 回
会場費	10,000	10,000 円×1 回	負担金	10,000	10,000 円×1 回
旅費	3,000	3,000 円×1 回(講師)	材料費	10,000	10,000 円×1 回(食材)